

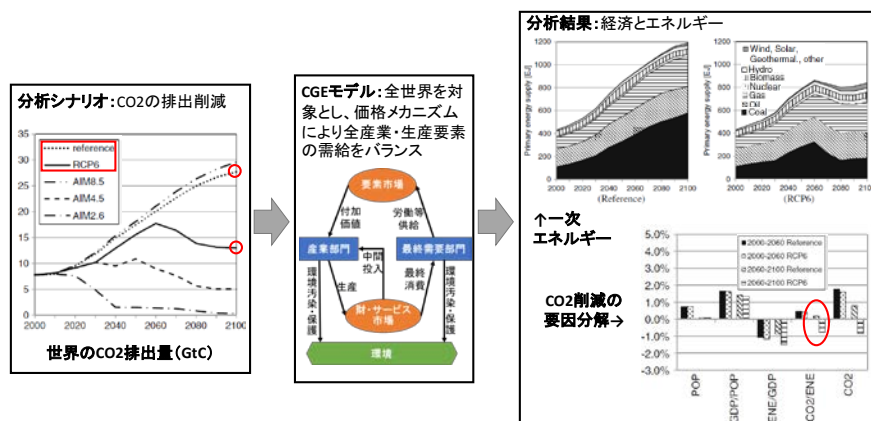
松本研究室(環境／エネルギー経済学・政策)

教員名：松本健一

● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

松本研究室では、環境やエネルギーの問題と関連する政策について、主にはシミュレーションモデルや統計的手法を用いて分析しています。その中でも、特に気候変動（地球温暖化）とエネルギー分野で、経済学などの定量的分析を主に行っています。ここでは1つの研究例を示します。

気候変動は現代社会における最も重大な環境問題の1つであり、同時に最大の社会問題の1つでもあります。気候変動対策は長期的な視点で考える必要があります。その際に、気候変動緩和策による経済への影響はどの程度あるのか？気候変動への適応にはどの程度の費用がかかるのか？最適な政策導入のタイミングはいつなのか？など、経済的な視点が不可欠です。このような課題に対して、応用一般均衡（CGE）モデルなどの経済分析手法を用いて分析しています。



このような研究をつうじて、成果が世界・日本の環境政策の策定につながることを期待されます。

教員のことや研究内容の詳細は、研究室の[ウェブサイト](#)をご覧ください。

● 先輩はどんなところに就職しているの？

長崎大学における松本研究室は、2016年度に立ち上げました。したがって、まだ卒業生がいません。他大学で指導してきた学生は、民間企業（大企業から中小企業まで）に就職しています。

学生には、しっかり勉強・研究して、民間でも公務員でも自分を活かせる仕事に就いてほしいと考えています。大学院への進学を希望する、また研究者になりたい学生も応援しています。